

平成 19 年度事業計画より

5.4 論文誌編集出版に関する学会方針：新体制に向けた運営の推進

論文誌ジャーナル，トランザクション，IPSJ Digital Courier の現状における問題点を整理し，オンライン出版に向けた学会論文誌編集出版に関する学会方針を策定した。19 年度は学会方針に基づく諸規程を整え，次の新体制への円滑な移行と運営の改善推進を図る。

なお，20 年 4 月に「IPSJ Digital Courier (DC)」の名称を「Journal of Information Processing (JIP)」に変更予定である。

(1) 各編集委員会を統括する「学会論文誌運営委員会」の創設

(2) 独立した編集委員会による各誌の編集

IPSJ Digital Courier (DC) IPSJ Digital Courier 編集委員会

ジャーナル ジャーナル編集委員会

トランザクション 各トランザクション編集委員会

(3) 海外オンライン発信の対象

IPSJ Digital Courier (DC)

英文トランザクション各誌（現状では，BIO，SDML 予定）

和文トランザクションに掲載される英文論文ポータル

5.5 論文誌および研究会活動のオンライン化 [所掌：オンライン論文誌検討 WG]

情報処理のリーダーとして情報処理技術の社会応用に先駆的に挑むべく，本会創立50周年（2010年）に向けて，論文誌および研究会の活動を全面的にオンライン化させ，単にペーパーレスによる印刷コストの低減だけではなく，オンライン化することで得られる会員のメリットを最大限追及することを目指す。

(1) 論文誌および研究会刊行物のオンライン出版

段階的にそれぞれの刊行物の全面オンライン化を実施し，2010年には論文誌と研究会刊行物の全てを包括して，低価格で購読可能な「総合デジタルライブラリ（仮称）」の実現を目指す。

(2) 研究発表会・シンポジウム会場等におけるペーパーレス化

研究会およびシンポジウム会場における紙ベースの資料・論文集の配布を，原則として廃止する方向で検討する。

(3) スケジュール概要

	19 年度 (2007)	20 年度 (2008)	21 年度 (2009)	22 年度 (2010 = 50 周年)
[ジャーナル]	準備・周知（秋）	E化実施		総合 DL 実施
[トランザクション]	準備・一部擦合せ	E化実施		総合 DL 実施
[研究会]	準備・一部試行	----- E化実施		総合 DL 実施
[シンポジウム]	準備・共催先擦合せ	----- E化実施		総合 DL 実施